

公益社団法人日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部  
令和7年度 第2回代議員会 次第

日 時： 令和7年7月18日（金）19：00～20：00

場 所： ZOOM

1. 開会の辞： 小倉 晋 副支部長
2. 支部長挨拶： 築瀬 武史 支部長
3. 指名点呼： 笹谷 和伸 総務委員長
4. 議長選出：
5. 議事録署名人選出：
6. 確認事項
  - ① 関東・甲信越支部 令和7年度 第1回代議員会議事録（案） （資料1）
7. 報告事項
  - ① （公社）日本口腔インプラント学会 本会会務報告  
大久保 力廣 理事, 栗田 浩 常務理事, 田中 讓治 理事, 萩原 芳幸 理事,  
樋口 大輔 理事, 築瀬 武史 常務理事
  - ② 第15回支部学術シンポジウム準備状況 遠藤 学 大会長 （資料2）
  - ③ 第45回関東・甲信越支部学術大会準備状況 月岡 庸之 大会長 （資料3）
  - ④ 第16回支部学術シンポジウム準備状況 廣安 一彦 大会長
  - ⑤ 第56回年次学術大会準備状況 萩原 芳幸 大会長
8. 審議事項
  - ① 支部代議員選出規程の変更について 小森 規雄 選挙管理委員長(資料4)
  - ② 令和9年度支部学術シンポジウム主管について 廣安 一彦 学術委員長
  - ③ その他
9. 監事講評： 根岸 邦雄 監事 奥寺 元 監事
10. 閉会の辞： 廣安 一彦 学術委員長

## 資料 1

### 公益社団法人日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部 令和 7 年度 第 1 回代議員会 議事録 (案)

日 時： 令和 7 年 4 月 24 日 (木) 19 : 00 ~ 20 : 00

場 所： ZOOM

出席者 (87 名) :

委任状提出者 (17 名) :

オブザーバー :

1. 開会の辞：勝沼 孝臣 副支部長より、参集に関する御礼、迅速な議事進行および慎重な審議についてお願いする旨のご挨拶があった。
2. 支部長挨拶：築瀬 武史 支部長より、2 月に開催された関東甲信越支部学術大会では児玉大会長以下神奈川歯科大学関係者のご尽力、会員の先生方の想いにて 1500 名以上の方に参加頂けたこと、本日は事業の決算報告等があるため、慎重な審議についてお願いする旨のご挨拶があった。
3. 指名点呼：笹谷 和伸 総務委員長より、支部代議員 111 名の内、出席 87 名、委任状 17 名、合計 104 名となり、過半数を超えることから本代議員会が成立することが報告された。出席の確認は ZOOM のチャット機能を用いて、チャットにフルネームを記入するように説明があった。
4. 議長選出：笹谷 和伸 総務委員長より、代議員会で既に承認されている関根 智之 議長および柳井 智恵 副議長が提案され、全会一致で承認された。
5. 議事録署名人選出：執行部より、伊藤 太一 先生と 辻 勇人 先生が推薦され、全会一致で承認された。
6. 確認事項
  - ① 関東・甲信越支部 令和 6 年度 第 3 回代議員会議事録 (案) (資料 1)  
笹谷 和伸 総務委員長より、資料 1 について確認がなされた。指摘事項等があれば総務委員会宛に連絡するように説明があった。
7. 報告事項
  - ① (公社) 日本口腔インプラント学会 本会会務報告
    - 大久保 力廣 理事 (試験委員会) : ケースプレゼンテーション試験の申込は 6 月 2 日 (月) ~ 6 月 27 日 (金) でオンライン申請、プレゼンテーション資料は事

前にオンライン提出、試験日は2026年1月11日（日）オンライン試験となる旨、専門医・指導医試験に関しては、8月12日（火）～8月29日（金）印刷して郵送提出となり、プレゼンテーション資料は事前にオンライン提出、試験は2026年1月12日（月）にTKPガーデンシティ PREMIUM 田町にてオンサイト開催予定、受験者へは前日である1月11日（日）夕方に説明会を実施予定である旨、日程等詳細が正式に決定次第、HPに掲載予定である旨の説明があった。

■栗田 浩 常務理事（認定委員会）：今年度は申請要件において1点変更があり、多数歯欠損の取り扱いが変更となり、具体的には時間を経て多数歯欠損となったケースもみとめられるようになった旨、詳細はHP等を確認いただくようお願いする旨の説明があった。

■田中 譲治 理事（用語委員会）：口腔インプラント学学術用語集第5版が出版され、第6版に向けて第5版の精査を行っており、日本デジタル歯科学会と協力しデジタルデンティストリー用語集作成を行った旨、編集委員会ならびに試験委員会とも用語の統一化を話し合っていく予定である旨の説明があった。

■萩原 芳幸 理事（国際委員会・IJID 編集長）：国際委員会では①IJIDの編集②国際交流活動を行っており、国際交流活動では、2025年第55回の学術大会大会（福岡開催）は、AAOとの共同開催となり、例年よりも海外演者が増え、ドイツ、タイ、インドネシアの先生方含めて、1日という大掛かりなセッションとなる可能性がある旨、IJIDは順調にIFの伸ばしており、質の高い雑誌となっている旨の説明があった。

■樋口 大輔 理事（財務委員会）：公益法人の会計基準が2025年4月より改定となったが、経過措置として2028年4月1日前までは以前の会計基準を引き続き適用することが可能であり、本会の会計士と相談しながら進めていく予定である旨が説明された。

■築瀬 武史 常務理事（総務総括・専門医制度推進委員会）：専門医制度については、2月に行われた予備調査において、短期間の中での確にお答えいただき、その結果は機構の方へ提出させて頂いたこと、内容に関しては、執行部と機構との共有のみとなり漏洩はないこと、予備調査で一部不適格となった場合でも一定の猶予期間において再調査となることで機構側と同意を得ていること、顎顔面インプラント学会と口腔インプラント学会との間に考え方に相違があり、準研修施設、研修施の分け方として、日本口腔インプラント学会では研修施設を大学病院、それ以外を準研修施設としているが、顎顔面インプラント学会では症例数の

多い施設を研修施設としていること、専門医機構のWGにて問題点が分かったため、次回までに整理していく予定であるが、カリキュラム等については合意が得られているため、着実に進んでいる旨、学会の内部資格（ケースプレゼンテーション、専修医、現在の専門医等）に関しては、開業医のマイルストーンの喪失が問題となることを細川理事長と共に伝え、井上 裕 理事長から一定のご理解を得ていることが説明された。日本歯科医学会長選挙が告示され、日本歯科大学・小林教授が立候補された。6月6日開催日本歯科医学会評議員会で選出されると思われる。日本歯科医学会連合の理事選にて10名の内6名（4名は指名理事）に細川理事長が立候補されたため、関係者各位へ推薦のお願いの旨が伝えられた。

- ② 第44回関東・甲信越支部学術大会開催報告 児玉 利朗 大会長 （資料2）  
児玉 利朗 大会長より、関係各位へのご尽力いただいたことに対する御礼、資料2に基づき、表記学術大会を「健康長寿をサポートするインプラント治療」をテーマに、総計1502名の参加を得て、令和7年2月8日（土）～2月9日（日）にパシフィコ横浜会議センターにて開催した旨、特別講演では日本歯科専門医機構より 今井 裕 先生にご講演頂き、専門医制度もより良い方向へ進んでいること、専門医教育講座は小宮山 彌太郎 先生にご講演頂き、3会場全て満席（700名以上の参加者）となり盛況であったこと、市民公開講座では第65代横綱 貴乃花光司氏をお迎えし90名以上の参加者を得られた旨、物価高騰によりホテル代・会場費・印刷費が予算よりも高騰していることを実感した旨について報告があった。
- ③ 第44回関東・甲信越支部学術大会学術賞受賞者 廣安 一彦 学術委員長（資料3）  
廣安 一彦 学術委員長より、資料3に基づき、牧野 将大 先生（東京歯科大学口腔インプラント学講座）、藤谷 崇人 先生（横浜インプラント研究会）、鈴木 梨菜 先生（日本歯科大学新潟病院口腔インプラント科）が第44回支部学術大会学術賞を受賞された旨、HPの掲載の旨の説明があった。
- ④ 第15回支部学術シンポジウム準備状況 遠藤 学 大会長 （資料4）  
遠藤 学 大会長より、資料4に基づき、「ゼロボーンロスを達成するためのストラテジー」をテーマに、令和7年7月27日（日）に日本歯科大学富士見ホールで開催する準備をしている旨の説明があった。演者は各施設より若手の先生を推薦頂き、決定した旨の説明があった。
- ⑤ 第45回関東・甲信越支部学術大会準備状況 月岡 庸之 大会長 （資料5）  
月岡 庸之 大会長より、資料5に基づき、「口腔インプラントが支えるトータルヘルスケアの近未来～DX・AI・マテリアル・メソッドで加速する未来～」をテーマに、令和8年2月14日（土）および15日（日）にTAKANAWA GATEWAY

Convention Center で開催する準備をしている旨、スケジュール、資材・会場費高騰に伴い登録費の設定について、業務委託は口腔保健医協会の随意委託となる旨の説明があった。各教育講座の講師は、専門医教育講座は飯島 俊一 先生、専門衛生士教育講座は戸原 玄 先生、専門歯科技工士教育講座は吉野 晃 先生となった旨、HP 掲載しているため詳細の確認、演題・参加の増進を行うため関係各位のご協力をお願いの旨の説明があった。

- ⑥ 第 16 回支部学術シンポジウム準備状況 廣安 一彦 大会長 (資料 6)  
廣安 一彦 大会長より、資料 6 に基づき、第 16 回支部学術シンポジウムが 2026 年 8 月 2 日 (日) に日本歯科大学生命歯学部富士見ホールにて開催予定であり、詳細は準備中である旨が報告された。
- ⑦ 第 56 回年次学術大会準備状況 萩原 芳幸 大会長 (資料 7)  
萩原 芳幸 大会長より、資料 7 に基づき、第 56 回年次学術大会は令和 8 年 9 月 18 日～20 日に「国民から信頼される口腔インプラント治療 (サブテーマは未定)」をテーマに東京フォーラムにて開催予定である旨、副大会長として、築瀬 武史 支部長、渡沼 敏夫 前・支部部長とされていたが、渡沼 敏夫 前・支部長が急逝されたことを受け、勝沼 孝臣 副支部長、小倉 晋 副支部長を副大会長とする旨が説明された。運営会社はインターベント、会場費も物価高騰のため高騰しており、借りる部屋数減らして効率的に行うこと、ランチオンセミナーは、会場が都内の一等地である点から飲食に不自由ない点、昨今の集客状況なども鑑みて従来よりセミナー数を減らし、別の形態での企業の参加をお願いする旨、ポスター会場は、昨年 of 京都の学会の反省を生かし、業者展示スペースの一部ではあるが十分余裕を持った配置とする予定である旨、研修施設セミナー、託児所に関しては従来通り行い、市民フォーラムに関しては集客数を増やせるように検討する予定である旨が説明された。
- ⑧ 学会特別功労賞・特別賞候補者推薦に関して 笹谷 和伸総務委員長 (資料 8)  
笹谷 和伸総務委員長より、資料 8 に基づき、学会特別功労賞 渡沼 敏夫 先生、学会特別賞 覺本 嘉美 先生を支部として推薦した旨を報告された。

## 8. 審議事項

- ① 令和 6 年度支部事業報告書 (案) について 笹谷 和伸総務委員長 (資料 9)  
笹谷 和伸総務委員長より、資料 9 に基づき、令和 6 年度支部事業 (令和 6 年度第 1 回・第 2 回・第 3 回支部代議員会、第 14 回支部学術シンポジウム、第 44 回支部学術大会、市民公開講座開催) について報告された。

- ② 令和 6 年度支部決算報告書 (案) について 関 啓介 財務委員長 (資料 10)  
関 啓介 財務委員長より、資料 10 に基づき、2024 年度支部会計決算書 (案) について詳細な説明がなされ、支部会計収支は黒字で運営できている旨、4 月 15 日に築瀬 武史 支部長、奥寺 元 監事、樋口 大輔 財務委員長陪席の元、支部会計監査を受けた旨、開催にご尽力された 児玉 利朗 大会長、月岡 庸之 大会長にご尽力の御礼の旨を伝えられた。

奥寺 元 監事より、7 月 15 日に関 啓介 財務委員長からルール説明があり、関係書類、執行にあたって問題ないことを確認し、承認した旨の監査報告がされた。投票の結果、賛成多数にて承認された。

- ③ その他

山西 泰史 先生より、2025 年度関東甲信越支部学術大会演題数が 35 題 (2024 年度演題数 64 題) に減少したこと、演題数増加のため研究会等に働きかけを積極的に行うべきではないかなどについて意見が出た。築瀬 武史 支部長より、その原因として、本大会が 11 月に開催されたことにより、開催時期が近かったためと考えられ、にも関わらず、1500 名以上のご参加を頂き、今後は本部、執行部、主管と話し合いながら進めていく予定である旨、支部 HP においても積極的な演題募集を掲載していることに追加して、個々に連絡する場合、連絡がつかない可能性の高い 6000 名の会員にどのように連絡すべきかという問題もあり今後の検討課題である旨が説明された。

## 9. 監事講評

奥寺 元 監事より、各支部会、シンポジウムにおいて赤字にならずに終えられたことは開催者の大変な努力が考えられ、会員発表が学会の主体であることは明白ではあるが、発表には期間、コストや倫理問題を解決する必要があり、費用の援助など環境と整えながら発表の奨励を行う必要があることが伝えられた。

## 10. 閉会の辞

小倉 晋 副支部長より、慎重かつ迅速な審議に感謝すると共に、代議員会後に行われる講演会への参加のお願いの旨の挨拶があった。